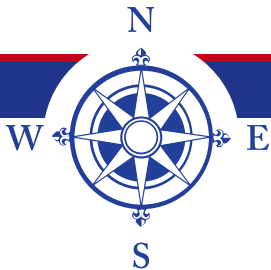


KANDAI

■ 関大ニュース



NEWS

インドの教育コンサルティング企業Acumen社と覚書を締結



関西大学は1月27日、インドを中心に大学・教育機関の国際展開支援を行う教育コンサルティング企業Acumen社と、国際教育分野における連携強化を目的とした覚書(Memorandum of Understanding: MOU)を締結した。



日本の大学としては初となるパートナーシップ締結を通じて、関西大学が推進する国際教育・グローバル人材育成と、Acumen社の教育機関支援におけるネットワーク・知見を基盤に、学生・学術交流の促進や国際教育の質的向上、グローバル人材の育成等に取り組む。

「関西大学フラッグシップ研究プログラム」を新設

関西大学は、将来の本学を代表する研究拠点の形成を目指し、2026年度から新制度「フラッグシップ研究プログラム」を始動する。

本プログラムは、1件につき10年間・計1億円以上という、私立大学としては異例の長期的かつ大規模な学内研究支援制度。本学のトップクラスの研究プロジェクトを対象に、学内外の英知を結集し、国際的かつ分野横断的な共創ネットワークを形成するとともに、大型外部資金の獲得前後を含めた3つのフェーズで持続的な支援を行い、本学の看板となる優れた研究の育成を図る。

関西大学フラッグシップ研究プログラムの支援イメージ

学内研究費、外部資金を組み合わせ、10年以上の長期支援を実現

学内研究費 Step 1 準備フェーズ 2年以内 年1,000万円以内	外部資金 Step 2 外部資金フェーズ 年2,000万円以上の外部資金獲得	学内研究費 Step 3 発展フェーズ 3年以内 年3,000万円以内
---	---	---

外部資金事業終了後の継続支援により、若手研究者の育成を含めた長期間の研究計画が可能になるなど、長期支援ならではのメリットを創出

「マイボトル洗浄機」でプラスチックごみ削減を推進



1月26日、象印マホービン株式会社が2025年大阪・関西万博に設置した「マイボトル洗浄機」を千里山キャンパスに移設した。これにより、マイボトル利用時の洗浄の手間を解消し、学生・教職員の更なる利用促進を図る。

関西大学では2020年度からウォーターサーバーを導入し、使い捨てプラスチックごみ削減に取り組んできた。2023年には同社を「関西大学SDGsパートナー」に迎え、2024年には共同で「関大マイボトルアンバサダー『ECOひいきプロジェクト』」を始動するなど、産学連携によるマイボトルの普及に努めている。

サッカー部の浅田慧潤さんがカマタマーレ讃岐に入団内定

2026年シーズンから、体育会サッカー部の浅田慧潤さん(人間健康学部4年次生)がJリーグ・カマタマーレ讃岐に選手として加入することが内定した。



浅田さんのポジションはフォワード。相手ディフェンダーを置き去りにする鋭いドリブルと卓越した決定力で、チームを勝利へと導くストライカーだ。ボールを収める巧みな技術で、味方に時間とスペースをつくり出せるのも大きな強み。Jリーグの舞台での更なる飛躍が期待される。

▲写真提供:関大スポーツ編集部

日本学生氷上選手権大会

アイススケート部の片伊勢武さんが個人2位 男子団体は3年ぶりの準優勝

1月8～11日、第98回日本学生氷上競技選手権大会フィギュア競技が東京辰巳アイスアリーナで行われ、男子シングルで片伊勢武さん(法学部4年次生)が総合216.20点をマーク。冒頭のトリプルアクセルを滑らかに降り、その後の3回転ジャンプをすべて着水して会場を沸かせ、準優勝の栄冠を手にした。



▲アイススケート片伊勢さん

また、男子団体では関西大学が3年ぶりの準優勝をつかみ取った。



▲アイススケート団体

KANSAI UNIVERSITY SOCIAL MEDIA

